



命を守る



ワガヤ



防災

「今できる備え、もしものときに」



寝屋川市  
防災ガイド&ハザードマップ

# 本書のみかた

## 今できる 備え



大災害に備えて、今からできることを紹介。地震や洪水が起きたときの対応や、備蓄情報などを掲載しています。



## もしもの ときに



災害時の行動や生活の情報を紹介。女性や子どもに配慮した対策も、避難生活では重要です。



## ハザード マップ



寝屋川市内の全エリアの避難所の位置や浸水情報などを紹介。自宅周辺や避難所への道を確認できます。



## 役立つ 防災知識



知っておいて便利な情報を紹介。非常時の情報収集や、災害時に知っておきたいマーク等を確認できます。



## 日常生活では…

避難所の位置や避難経路、災害時の連絡方法を家族と話し合うなど、この冊子とハザードマップを日々の防災対策に活用ください。また、市ウェブサイトより無料でダウンロードすることができますので、予めタブレットやスマートフォンにダウンロードしておけば、災害時にもインターネットに接続せずに読むことが可能となります。

## もしものときは…

巻末マップを壁に貼るなどして、避難所の位置を把握するツールとして活用できます。冊子では、避難生活の心得などを確認ください。



# もしものときに、命を守る。

住まいや生活、大切なものを  
一瞬で奪う自然災害。  
もしものときのために、  
今、私たちにできることを  
考えてみましょう。

## 助け合いが大切です。

自助



共助



公助



災害が起きたとき、行政等による支援（公助）は一人一人に対する初期の対応が難しく、ある程度時間がかかります。自分や家族の身を守るためには、防災グッズの用意や避難の心得などによる自分の力（自助）と隣近所で助け合う地域の力（共助）が重要です。

# 目次

災害を知る ..... 4  
地震...4 大雨...5 土砂災害...6 台風...7 火災...8 大雪...9 テロ・武力攻撃...10

巻頭  
特集

## 寝屋川市で備える ..... 12

寝屋川流域にあるまち ..... 12 南海トラフ巨大地震のおそれ ..... 17  
寝屋川市の水路 ..... 14 寝屋川市で起こる災害 ..... 18  
寝屋川市を通る活断層 ..... 16 寝屋川市での防災の取組 ..... 20

### 1

## 今できる備え ..... 24

### 災害発生シミュレーション

地震	地震発生!そのとき ..... 26	洪水	発生直前までにすること ..... 36
	発生直後にすること ..... 28		洪水発生!そのとき ..... 38
	避難の判断と流れ ..... 32		避難の判断と流れ ..... 40
避難生活のために ..... 42		生活再建の入り口へ ..... 48	
在宅避難を選択する ..... 46			

家での備え ..... 50 地域での備え ..... 64  
外での備え ..... 62

### 2

## もしものときに ..... 66

応急手当て ..... 68 生活するために ..... 76  
体を守るために ..... 72 情報収集・安否確認 ..... 80

家族の防災	女性視点の防災	子どもの防災学習
災害発生時の対応 ..... 82	災害時の防犯対策 ..... 88	防災クイズ ..... 90
避難所での子育て ..... 83	避難所での	私の家の防災マップ ..... 92
防災グッズ ..... 84	女性への配慮 ..... 89	防災まちがい探し ..... 94
家族と地域の減災 ..... 86		子どもの防災力 ..... 98

### 3

## ハザードマップ ..... 100

ハザードマップの使い方 ..... 102  
洪水・土砂災害ハザードマップ(寝屋川・古川) ..... 104  
洪水・土砂災害ハザードマップ(淀川) ..... 120  
豪雨ハザードマップ(内水氾濫) ..... 130  
ため池ハザードマップ ..... 146

### 4

## 役立つ防災知識 ..... 152

気象情報(台風・大雨) ..... 154 防災情報・緊急連絡先 ..... 158  
知っておきたいマーク ..... 156

巻末  
付録

## 寝屋川市ハザードマップ【全域版】

1

今できる備え

2

もしものときに

家族の防災

女性視点の  
防災

子どもの  
防災学習

3

ハザードマップ

4

役立つ防災知識

## 地震

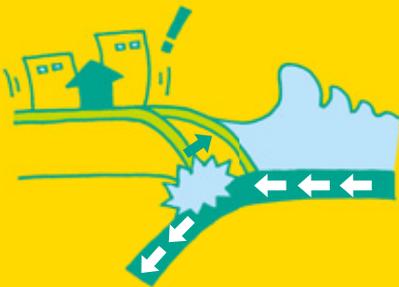
近い将来、高い確率で発生すると予測されている巨大地震。  
いざというときの知識と備えが今必要です。



### ！ とるべき行動

- 落ち着いて自分の身を守る。
- 揺れがおさまったら火の始末。
- ドアを開けて逃げ道を確保。

### 海溝型地震



陸側のプレートの下に海側のプレートが沈み込み、陸側のプレートが跳ね上がる地震。近年では東日本大震災が海溝型地震にあたり、震源は海の中である場合が多く、巨大津波に警戒する必要があります。

### 直下型地震



内陸型地震とも呼ばれ、活断層のズレによって発生する地震。震源が浅い場合は局所的に激しい揺れを伴う場合があります。阪神・淡路大震災や熊本地震、大阪北部地震が直下型地震でした。

### 震度とマグニチュード

震度は地震の揺れの大きさを表し、マグニチュードは地震そのものの大きさ(規模)を表します。

### 緊急地震速報

地震発生直後、強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限りすばやく知らせる情報のこと。

### 液状化現象

地震が発生した際、振動によって地下水の圧力が高くなり、地盤が液体状になる現象のこと。

# 大雨

近年、集中豪雨や局地的大雨による災害が増えています。情報を早く把握し、早めの避難を行うことが重要です。



## ！ とるべき行動

- 危険な場所には近づかない。
- 避難指示で速やかに避難。
- ハザードマップで危険箇所を確認。
- 土砂災害警戒情報に注意。

## 局地的大雨



夏場などに大気の状態が不安定となって積乱雲が発達し、短時間に狭い範囲で激しく降る雨のこと。雨雲の発生から降雨までが短く、「ゲリラ豪雨」とも呼ばれ、事前の予測が困難です。

## 集中豪雨



梅雨前線の停滞や低気圧などにより、同じ場所に数時間にわたって大量の雨が降ること。総雨量が数100mmに達することがあり、河川の氾濫や土砂災害を引き起こします。

### 降雨量の単位

mmで表します。「1時間に100mmの降雨量」は、1時間で水深10cmになります。50mm以上で多くの災害が発生します。

### 大雨の多い時期

季節の変わり目で梅雨前線や秋雨前線が停滞する頃、また、7月から10月にかけて台風の接近が多くなる頃です。

### 二次災害

ある時間間隔をおいて副次的に発生する災害のことで、大雨の後にはがけ崩れや地すべり、土石流が懸念されます。

## 土砂災害

台風や集中豪雨が原因で起こることが多く、一瞬にして人命や住宅などの財産を奪う災害。すさまじい破壊力をもつ土砂が流れます。

### ！ とるべき行動

- ハザードマップであらかじめ危険箇所を把握。
- 雨量の情報や前兆現象に注意。
- 早めに土砂災害危険箇所から外に出る。
- 建物の2階以上の部屋へ移動。
- 土砂災害警戒情報に注意。



### がけ崩れ



雨水の浸透や地震によって、山の斜面が崩れ落ちる現象。突然発生し、崩れるスピードが速いです。

### 地すべり



地下水の水位が上がり、地面の一部がすべり落ちる現象。被害が広範囲に及ぶ可能性があります。

### 土石流



山や谷の石や土砂が大雨によって下流へと押し流される現象。猛烈な速さで家屋などを飲み込みます。

### 前兆現象

がけ崩れでは斜面から水が湧き出る、地すべりでは地面に亀裂や段差が生じる、土石流では流木が流れてくることなどがあります。

### 土砂災害危険箇所

土砂災害が発生するおそれがある箇所のこと。ほかに、土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域があります。

### 土砂災害警戒情報

大雨警報が発表されている状況で、大雨による土砂災害のおそれが高まったときに発表されます。

# 台風

7月から10月にかけて多く上陸する台風。  
猛烈な風や雨は、風水害や土砂災害などの  
原因となり、深刻な被害を与えます。



## ！ とるべき行動

- 家の周りにあるものを固定もしくは移動。
- 家の窓ガラスや雨戸などを補強。
- 床上浸水に備えて家具を安全な場所に移動。
- 台風接近中は車のスピードを出しすぎない。

## 注意報



大雨や強風などによって災害  
が起こるおそれがあることを  
注意する予報。

## 警報



重大な災害が起こるおそれ  
がある際に発表されるもの。必要  
に応じて速やかに避難します。

## 特別警報



数十年に一度しかないような  
重大な災害の危険が差し迫っ  
ている場合に発表されます。

## 熱帯低気圧

熱帯又は亜熱帯地方で発生す  
る低気圧の総称。発達すると台  
風になります。

## 台風の眼

台風の中心付近の風が弱く雲  
が少ない部分。半径は一般的に  
10～40kmに及びます。

## 強風域と暴風域

強風域は強い風<sup>※1</sup>が吹く領域、  
暴風域は非常に強い風<sup>※2</sup>が吹  
く領域を指します。

※1 平均風速が15m/s以上

※2 平均風速が25m/s以上

## 火災

調理機器やたばこ、暖房機器を原因とした火災が毎年多くの一般家庭で発生しています。火が小さいうちに消す初期消火が重要です。

### ！ とるべき行動

- 古くなった電気機器のコンセントを確認。
- 火種になる物の近くに物を置かない。
- 消火器の正しい使い方を知る。
- 火災発生時は速やかに119番通報。
- ハンカチで口や鼻をおさえ低姿勢で避難。



### 住宅火災



出火原因の多くは調理機器やたばこ及び暖房機器の火の不始末です。出火を未然に防ぐよう心がけるとともに、住宅用火災警報器が確実に機能しているかチェックしておきましょう。

### 林野火災



毎年冬から春にかけて多く発生します。落葉が地面に積もっており、風が強く乾燥状態が続くことが原因です。山菜採りなどで入山する場合は火の取扱いに十分注意しましょう。

#### 火災報知機

火災による煙や熱を早期に自動的に感知して、警報ベルなどで、建物内の人たちに火災発生を知らせる設備。

#### 収れん火災

ピンなどのレンズ状の物が、太陽光を反射屈折させ集中した光が当たった可燃物が発火することで起こる火災。

#### 初期消火

消火器などで、自分の身長未満の小さな火を消すこと。

# 大雪

主に日本海側で起こりますが、太平洋側の平野部でも積雪することがあり、降った後も様々な災害を起こします。



## ❗ とるべき行動

- 雪が積もった日は、不要不急の外出は避ける。
- ライフラインの停止に備えて水や食料などを用意する。
- 水道を少しずつ流し続けるなどの凍結防止を行う。
- 自動車にスタッドレスタイヤなどを装着する。
- 室外機の凍結に備えてエアコン以外の暖房器具を用意する。

## 凍結による転倒事故



雪が積もりシャーベット状や凍結状態になると、滑りやすい状態になります。転倒時に頭を強打したり骨折することもあります。雪に不慣れな地域では、転倒事故が比較的多くなります。

## 交通機関の混乱



雪に不慣れな地域では、わずかな積雪でも交通機関の運休や道路の通行止めなどの交通障害が発生しやすくなります。自動車によるスリップ事故なども起こりやすくなります。

### 世界有数の豪雪国

日本は温帯気候にも関わらず、大陸から吹く冷たい風と日本海の温暖な水蒸気により、世界でも有数の豪雪国となっています。

### 大雪警報

24時間降雪の深さが20cmとなる場合、重大な災害が発生するおそれがあるとして、大雪警報が発表されます。

### チェーン規制

平成30年(2018)12月より法改正され、高速道路の一部区間でチェーン規制を導入。冬用タイヤであってもチェーンは必須です。

# テロ・武力攻撃

世界を騒がせるテロや武力攻撃は、私たちにとっても他人ごとではありません。  
冷静に対処できるようにしておきましょう。

## 警報が発令されたら

### ❗ 屋内にいる場合にとるべき行動

- ドアや窓を全部閉める。
- ガス、水道、換気扇を止める。
- ドア、壁、窓ガラスから離れた場所に座る。



### ❗ 屋外にいる場合にとるべき行動

- 近くの頑丈な建物や地下街などの屋内に避難する。
- 化学剤などの攻撃時は、屋内や風上に避難する。
- 自家用車などを運転している場合は、緊急通行車両の通行の妨げとならないよう、道路外や道路の左端に沿ってキーをつけたまま駐車する。

#### Jアラート

弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下または通過する可能性がある場合に使用される警報システム。

#### 国民保護法

万一、武力攻撃や大規模テロが起こった場合に、正確な情報の伝達などを通して国民の命や財産を保護するための法律。

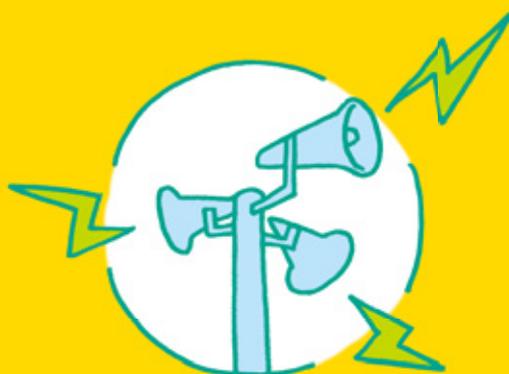
#### 寝屋川市国民保護計画

武力攻撃等が発生した際に、市民だけでなく通勤通学などで市内に滞在する人も含めて、命や財産を保護するための計画。

# 弾道ミサイル

## 弾道ミサイル発射直後の情報伝達

- 弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。
- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。



メッセージが流れたら、落ち着いて、直ちに行動してください。

### ❗ 屋内にいる場合にとるべき行動

- 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。



### ❗ 屋外にいる場合にとるべき行動

- 近くの建物の中か、地下に避難する。

※できれば頑丈な建物が望ましいものの、  
近くなければ、それ以外の建物でも構いません。



#### 建物がない場合

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。

### 落ち着いて情報収集を行う

警報を始め、テレビやラジオも利用し、正確な情報収集に努めましょう。



# 寝屋川市で備える

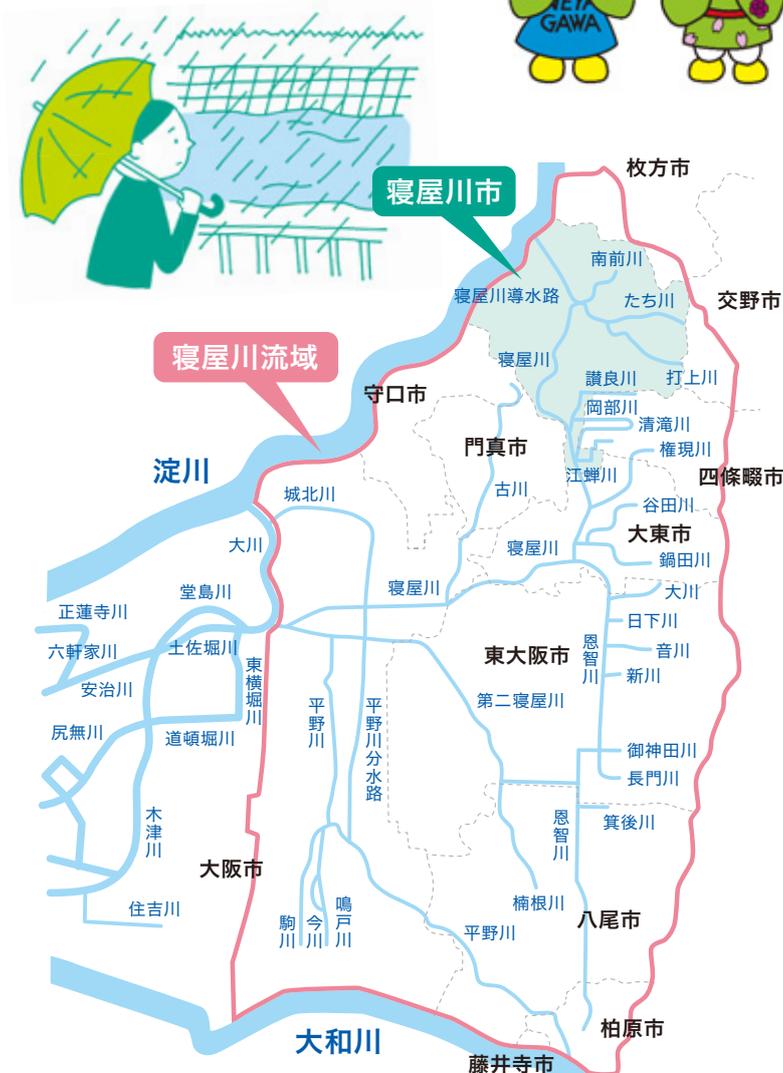
災害に備える第一歩は、地域を知ること。

寝屋川市の特徴や災害への取組を知り、防災に役立てていきましょう。



## 寝屋川流域にあるまち

寝屋川を含む大小30もの河川を寝屋川水系と呼んでいます。寝屋川水系を取り巻く寝屋川流域は、大阪市東部を含む12市にまたがっており、北部は淀川、南部は大和川に囲まれています。その面積は267.6km<sup>2</sup>あり、寝屋川市の全域が寝屋川流域に含まれています。



### 流域とは？

地面を伝うなど地形や水路によって、降った雨が集まり水系に流れる範囲・領域のことです。

### もともとは海だった地面

寝屋川流域は大阪湾の一部でした。大和川が運ぶ土砂が陸地となったため、雨水がたまりやすい地形となっています。

- 川より土地が低い位置にある
- 急速な都市化により雨水が浸透しない

### 西側半分が内水域

寝屋川市の西側半分は雨水が自然に河川に流れ込まない「内水域」のため、雨水を逃がす工夫を行っています。

- 川の改修で流せる水の量を増やしている
- 雨水をためる施設(広場)がある

## 近年の水害



平成30年  
(2018)

### 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)

西日本を中心に記録的な大雨が降り続き、広島県や岡山県などでは、土砂崩れや浸水、死傷者などの被害をもたらしました。数十年に一度の重大な被害が予想される場合に出す「大雨特別警報」が11府県で発表。ひとつの災害で「大雨特別警報」が4都道府県以上に発表されるのはこのときが初めてでした。また、寝屋川市では「土砂災害警戒情報」が発表されました。

平成24年  
(2012)

### 短時間豪雨

8月14日の明け方から朝にかけて、寝屋川市のほぼ全域で1時間雨量が100mmを超える猛烈な雨に襲われ、さまざまな被害をもたらしました。寝屋川市では、床上浸水1,427戸、床下浸水5,787戸の被害が発生しました。寝屋川市ではこの災害を教訓に、災害時対応などを検証し、治水対策を推進しています。



平成15年  
(2003)

### 台風豪雨(台風第10号)

8月3日にフィリピンで発生した台風が、強い勢力のまま沖縄から関西、北海道へと上陸しました。前線の影響もあり、南西諸島と西日本各地は暴風と大雨に見舞われ、近畿の一部では400mmを超える雨を観測。寝屋川市でも床上浸水15戸、床下浸水611戸の被害が発生しました。

# 寝屋川市の水路

## 水路の役割

- 河川
- 水路
- 池・ため池

農業用水などを河川から引き込む「運水」のほか、洪水・高潮などの水害や、がけ崩れ・地すべり・土石流などの土砂災害を防御する「治水」が主な役割です。



## 巡る水路

市内には、西側を流れる淀川と中央部を流れる寝屋川を中心に、中小河川や水路が縦横に巡っています。地域で清掃をするなど、水路は生活に密接に関わっています。

## 内水氾濫

市街地などに降った雨が、下水処理能力を超えるなどして、排水しきれずにあふれる浸水害です。



# 水路とともに

## 農業用水として

市内を流れる水路は農業用水のためにつくられました。淀川から農業用水を引き込むだけでなく、水辺で子どもたちが泳いだり魚とりを行うなど、各集落のコミュニケーションの場でもありました。農業の衰退や人口集中に伴い、その用途は変遷しています。

## 地域の清掃活動は 防災につながっている

水路は普段から管理されていますが、大雨が降るとあふれてしまい、床上浸水が起こった事例もあります。そのため、市内でも水路の一齐清掃を実施している地域があります。水路にたまった泥をかき出すことで大雨時の排水も心配いりません。日頃の清掃活動が浸水対策になっているのです。

## 水路を活用した まちづくり

農業用水や治水を目的につくられた水路ですが、ほかにも重要な役割を担っています。幹線水路では地域の人々が植えた桜が咲き誇り、寝屋川導水路では鯉のぼりが泳ぎ、季節の風物詩となっています。親水公園やビオトープとして整備されている水路もあり、多様化により地域の活性化につながっています。



# 寝屋川市を通る活断層



寝屋川市を通る活断層には、枚方とつきよく撓曲と交野断層があり、これらは枚方市から羽曳野市間を通る生駒断層帯に属しています。寝屋川市では生駒断層地震や南海トラフ巨大地震などを想定し、防災計画やマップを作成しています。

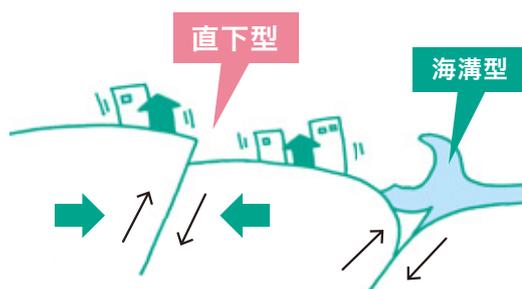


## 主要活断層帯の地震発生確率(30年以内)

断層帯名(起震断層/活動区)	長期評価で予想した地震規模(マグニチュード)	地震発生確率
中央構造線断層帯(和泉山脈南縁)	7.6~7.7程度	0.07%~14%
中央構造線断層帯(金剛山地東縁)	6.9程度	ほぼ0%~5%
上町断層帯	7.5程度	2%~3%
生駒断層帯	7.0~7.5程度	ほぼ0%~0.2%
有馬一高槻断層帯	7.5程度(7.5±0.5)	ほぼ0%~0.03%

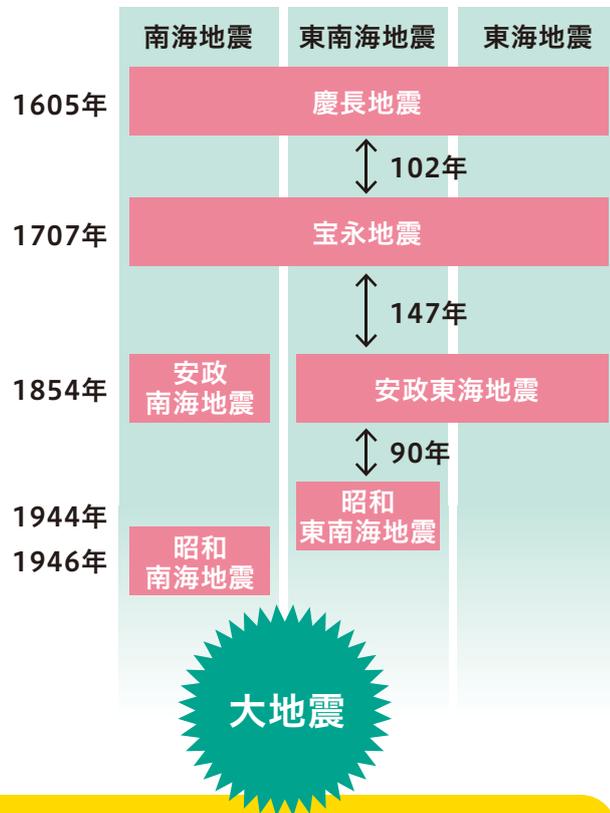
## 活断層とは?

地面の下には断層が多数あり、断層が壊れてずれた震動で地震が起こります。断層の中でも数十万年前以降に繰り返し活動し、将来も活動すると考えられるものを活断層といいます。



# 南海トラフ巨大地震のおそれ

南海トラフ巨大地震とは、東海から九州南部に続くプレート境界で起こる地震です。100～150年間隔で繰り返し発生しています。前回から70年以上が経過し、今後30年以内に発生する確率が70～80%と予測されています。一部では震度7となる可能性があるほか、広い地域では震度6強から6弱の強い揺れになると想定されています。また、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されています。



## 事例

### 大阪北部地震

平成30年(2018)6月18日午前7時58分、大阪府北部を震源とするマグニチュード6.1の地震が発生し、府内で4人の死者、360人の負傷者、多くの家屋被害が発生したほか、停電・ガスの停止・漏水など、ライフラインにも多くの影響を与えました。寝屋川市でも震度5強を観測し、負傷者や家屋被害がありました。

#### 寝屋川市の被害状況

軽傷者……………9人  
 家屋半壊……………8棟  
 一部損壊……………1,469棟



# 寝屋川市で起こる災害

低地  
(氾濫平野)

寝屋川市で想定される災害の一例です。  
あらゆる災害の可能性を踏まえて、防災に努めましょう。

## 液状化

地震の揺れにより地盤が液体状になり、建物などを支える力を失います。

## ため池決壊

地震や風水害によってため池が決壊し、濁流による土砂災害を引き起こします。

## がけ崩れ

地面に染み込んだ水分によって弱くなった斜面が突然崩れ落ちる、突発的に起こる現象です。

## 地すべり

比較的ゆるやかな斜面の地中の層が、地下水などの影響でゆっくりと動き出す現象です。

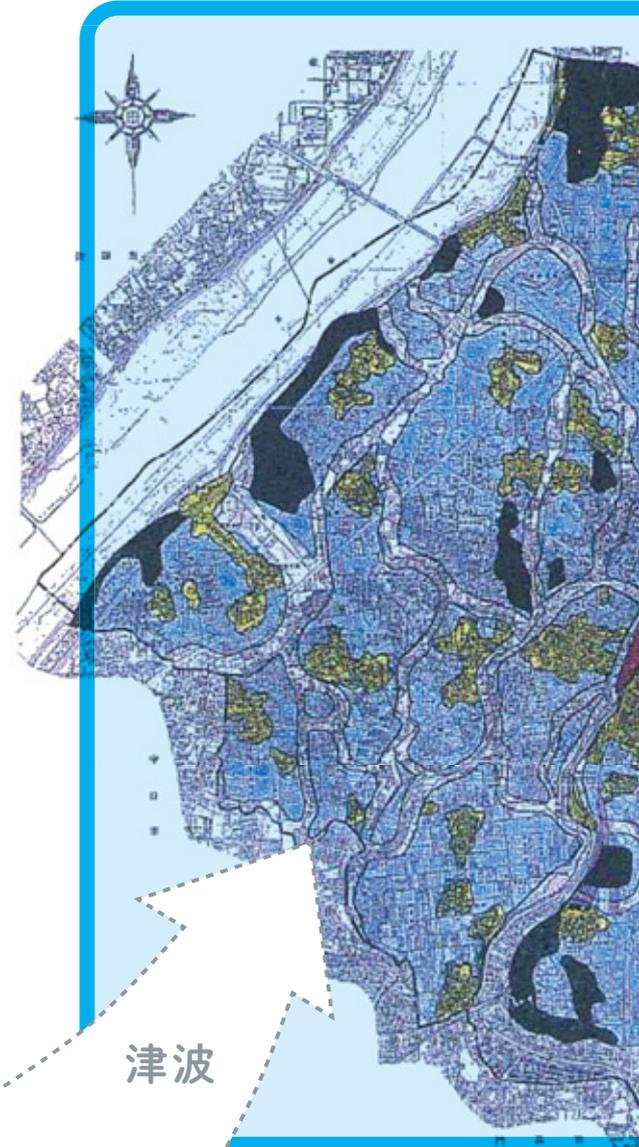
## 外水氾濫

台風や大雨によって、河川の水が堤防からあふれたり、堤防が決壊することで洪水が起こります。



## 内水氾濫

市街地などに降った雨が、下水処理能力を超えるなどして、排水しきれずにあふれる浸水害です。



## 二次災害にも注意を

### 地震火災

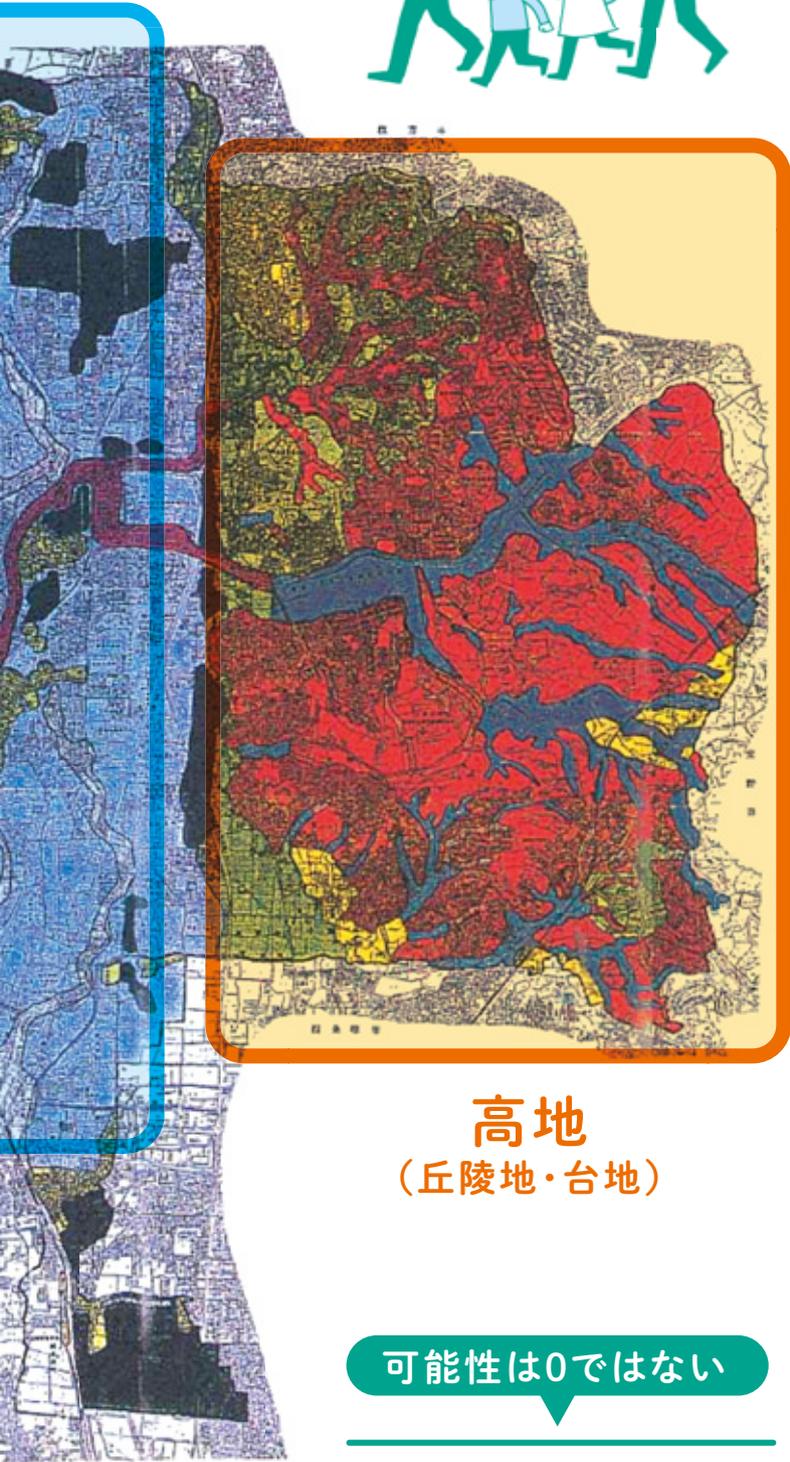
地震により引き起こされる火災で、暖房機器の転倒や通電火災が多くなっています。

### 感電

地震の揺れで電線が切れたり、水槽の水がコンセントにかかるなどして漏電することもあります。

### ガス漏れ

地震の揺れでガス管が痛み、ガス漏れを起こしている場合があります。ガス臭くないか確認しましょう。



## 低地

寝屋川市の西部に広がる氾濫平野は標高2~3mと低いものの、ほとんどが宅地化による盛土でかさ上げされています。河川堤防の整備によって、外水氾濫の危険は少ないですが、豪雨時の排水不良による内水氾濫は発生しています。

## 台地

台地は、よく締まった砂と小石で構成されており、防災上も比較的安全と考えられます。ただし、不安定なかけなどでは災害時に斜面崩壊の危険があります。また谷では、豪雨時に流水が集中しやすく、内水氾濫のおそれがあります。

## 丘陵地

大部分が宅地化によりコンクリート等で覆われているため、豪雨時の流水が地下に浸透しにくい状況です。このため、内水氾濫や冠水のおそれがあります。不安定な斜面での斜面崩壊や盛土地盤の沈下、液状化のおそれもあります。

## 活構造

丘陵地の周りには活構造と呼ばれる、比較的新しい時代に活動した地形がみられます。南北方向や北東から南西方向にあり、地層の斜面が急になっているため、断層沿いの急斜面では地震による斜面災害のおそれがあります。

## 高地 (丘陵地・台地)

可能性は0ではない

## 津波

大地震の発生によって大阪湾からの津波が届き、浸水する可能性もあります。

# 寝屋川市での防災の取組

## 命を守る赤ちゃん用防災グッズを配布

赤ちゃん用品の救援物資の不足が過去の大震災でも問題化しています。大切な命を守る取組として、出生届を提出された際などに、使い捨て哺乳瓶、エマージェンシーブランケットなどを詰め合わせた乳児用防災用品を渡しています。

※対象者：出生と同時に寝屋川市の住民となられた子ども



## 寝屋川市駅前通りが防災ゾーンに

寝屋川市駅東地区に整備された歩道に、防災ゾーンが完成しました。約60m<sup>2</sup>の敷地に、災害時にかまどとして活用できるかまどベンチ、ソーラー照明、防災ポンプ・井戸、防災トイレスツールなどが設置され、収納ベンチにはトイレに設置するテントや災害時に活用できる道具が入っています。



かまどベンチ



ソーラー照明



防災ポンプ・井戸

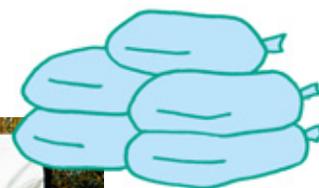


防災トイレスツール



## 土のうステーションを設置

浸水被害の自衛を支援するため、市内24箇所(各小学校区)に土のうステーションを設置しています。砂入りの土のうが約50個入っており、水害時には玄関先や換気口付近に置くことで、雨水の侵入を防ぐことができます。



## 市内で多数の防災訓練を実施

市内では定期的に地域の自主防災訓練が実施されているほか、大学や事業者主体などの防災訓練も盛んに行われています。また災害時の医療・救護活動を円滑なものとするための市内医療機関による災害時医療訓練も実施しています。



### 実施実績

- 小学校区単位の自主防災訓練
- 摂南大学キャンパスの防災訓練
- 自治会の避難所運営訓練
- 市と府が連携する災害時医療訓練

## 緊急時応急給水所・防災井戸の設置

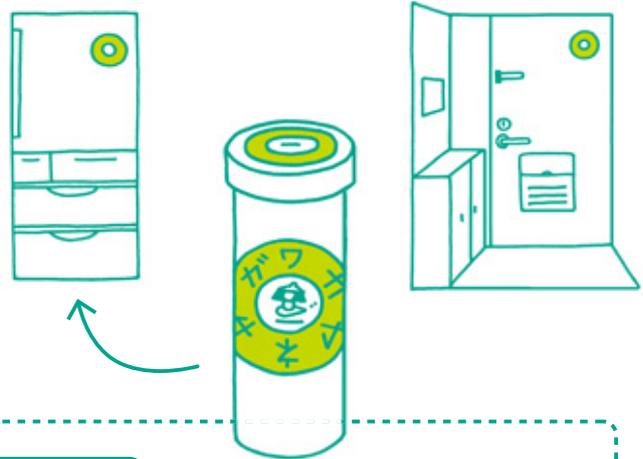
災害時における飲料水の確保を図るため、給水管が破損した場合でも水を出することができる「緊急時応急給水所」を近畿運輸局大阪運輸支局に設置しました。

また、災害時の生活用水（トイレ等）の確保を図るための「防災井戸」を市内西側地域の小学校10校に設置しました。



## 命のカプセル「あんしん」を配布

緊急時に必要な医療情報などを伝えるために、普段から冷蔵庫に保管しておく命のカプセルを無料で配布しています。カプセルにはかかりつけ医や持病、緊急連絡先などの情報を入れておき、目印を冷蔵庫と玄関扉（内側）に貼ります。



### 対象者

- 65歳以上のひとり暮らし
- 65歳以上の高齢者のみの世帯
- 障害者手帳をもっている人

### 申し込み方法

本人または代理人が、市役所窓口や地域包括支援センターで申請書に記入ください。その場でカプセルをお渡しします。

## 市内各所コンビニにAEDを設置

市民の命を守る取組として、市内各所のコンビニにAEDを設置しています。これは、店舗周辺で救命処置が必要となった際に、AEDを借りてきた場合の受け渡しを行う取組です。AEDを設置しているコンビニ店舗の入り口にはステッカーが貼ってあります。



### AEDの種類

AEDは機種によって使い方に若干の違いがありますが、基本的な操作はシンプル。機械が使い方を説明してくれるので、落ち着いて使用しましょう。

### 手動電源タイプ →

ふたを開けてスイッチを押すと電源が入ります。

### 自動電源タイプ

ふたを開けると自動で電源が入ります。

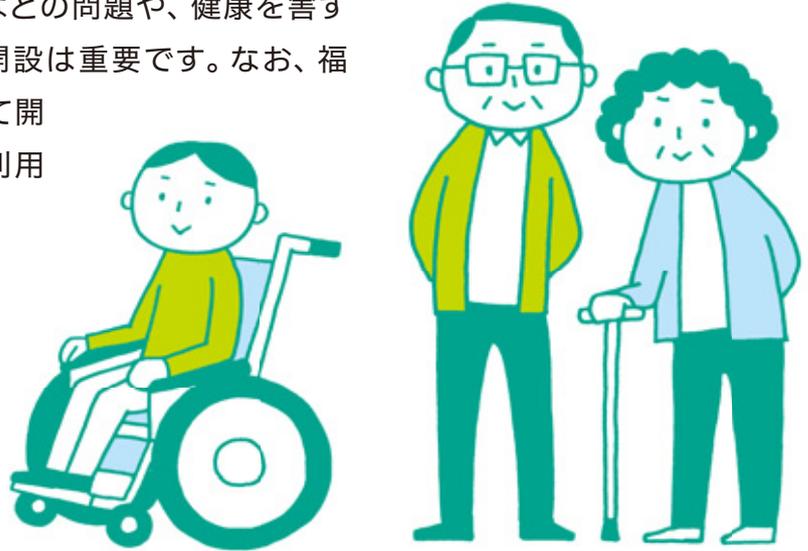


## 福祉避難所とは

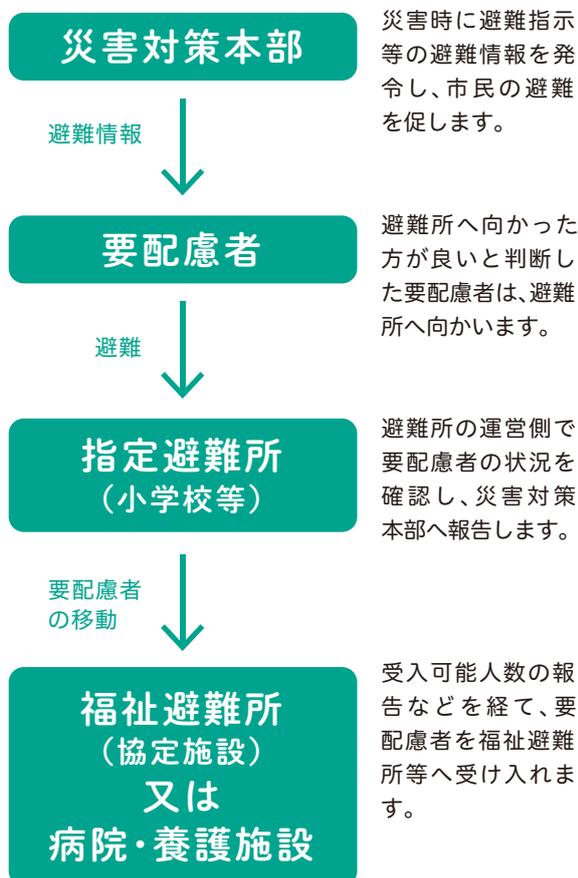
避難生活で配慮が必要な方を対象とする避難所のことです。特別な配慮が求められる方の場合、指定避難所等ではトイレや配給場所まで歩けないなどの問題や、健康を害するケースもあり、福祉避難所の開設は重要です。なお、福祉避難所は災害時に必要に応じて開設され、最初から避難所として利用することはできません。

### 主な対象者

- 高齢者
- 乳幼児
- 障害者
- 病弱者
- 妊産婦
- 外国人



### 受入れの流れ(例)



### 御注意ください!

✓ 指定避難所の開設は以下の順序です

- ①各コミュニティセンター
- ②小学校
- ③中学校
- ④その他の公共施設
- ⑤私立学校

✓ 指定避難所等で生活に困難が伴う方が対象です

福祉避難所へは誰もが避難できるわけではありません。指定避難所等での共同生活が困難であると災害対策本部が判断し、移動を決定します。